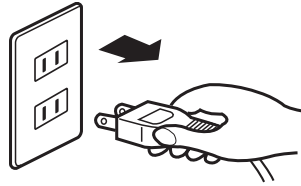
9　消耗部品の交換方法

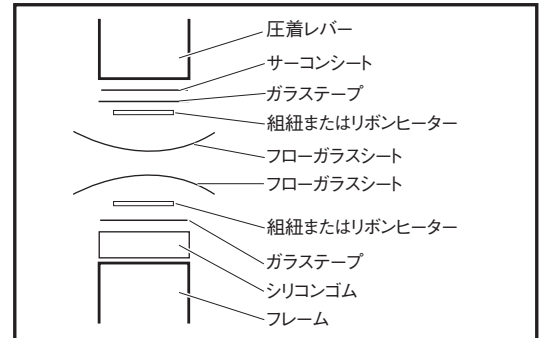
日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。
以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告　消耗部品の交換やメンテナンスを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

⚠ 警告　取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

⚠ 警告　消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

必ず電源プラグをコンセントから抜いて
作業を行ってください。

シール部の構造

シール部は右イラストの消耗部品などから構成されています。
消耗部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。

9-1　部品交換のための準備

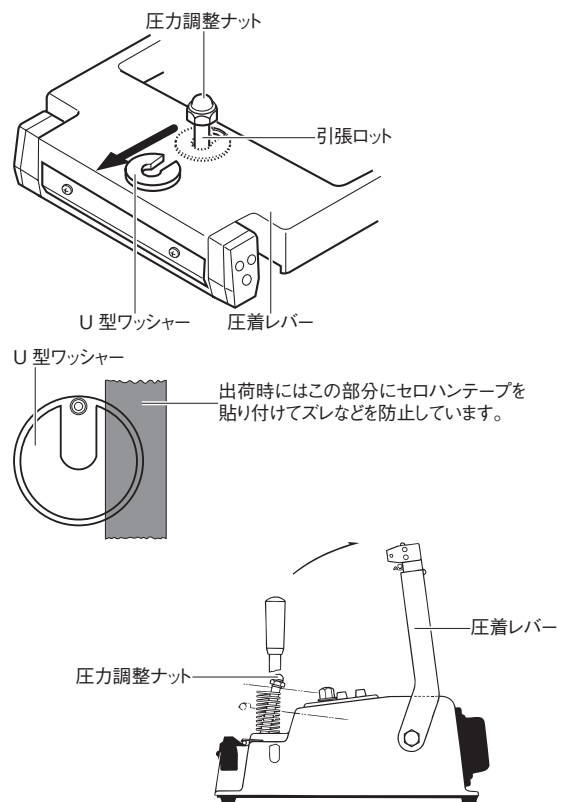
● 各部品の交換前に

部品を交換するときは、圧着レバーを持ち上げることで作業がしやすくなります。

U 型ワッシャの外し方

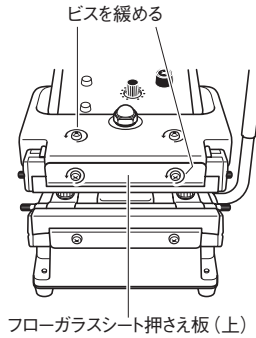
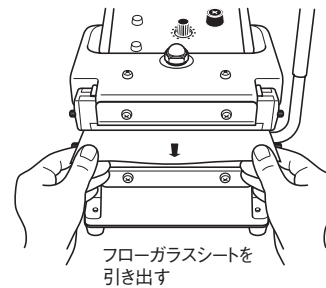
1　圧着レバーを手で押さえると、引張ロット先端の圧力調整ナットと圧着レバーが離れますので、そのあいだに挟まれているU型ワッシャーを溝に沿わせて取りだしてください。取り付けるときは同じ様に圧着レバーを手で押さえながらU型ワッシャー取り付け用の溝に確実にセットしてください。

⚠ 注意　U型ワッシャーがズレた位置で使用すると、圧着レバーに過大な力が加わり破損する危険性がありますので、取り付け用の溝に確実にセットしてください。

2　圧着レバーを持ち上げて圧着レバーの穴に圧力調整ナットを通し、圧着レバーを上方に持ち上げます。

9-2　上側フローガラスシートのずらし方

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー
【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた、シールが汚い等

フローガラスシートは予備として巻取棒に 25cm ～ 30cm 巻いてあります。

1　圧着レバー上のビスとフローガラスシート押さえ板（上）のビスを緩めます。

2　フローガラスシートの端を引っ張ってヒーターの下にフローガラスシートの新しい面がくるように引き出します。
3　不要部分をハサミで切り取ります。
4　取り付ける時は、まず、フローガラスシート押さえ板（上）と圧着レバーの間にフローガラスシートの端を挟み込んでフローガラスシート押さえ板（上）のビスを締めて固定します。
5　次に、フローガラスシート巻取棒を回してフローガラスシートのゆるみをとります。
6　圧着レバー上のビスを締め付けてフローガラスシート巻取棒を固定してください。

MEMO　圧着レバーの上のビスを締め付ける時、フローガラスシート巻取棒押さえ（上）が回転しないように指で支えながらビスを締め付けてフローガラスシート巻取棒を固定してください。「9-3 上側フローガラスシートの交換」を参照してください。

9-3　上側フローガラスシートの交換

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた、シールが汚い等

フローガラスシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

フローガラスシートは予備として巻取棒に 25cm 〜 30cm 巻いてあります。

フローガラスシート巻取棒に巻いてあるフローガラスシートが全て無くなりましたら、以下の方法でフローガラスシート巻取棒を外して、新しいフローガラスシートを取り付けてください。

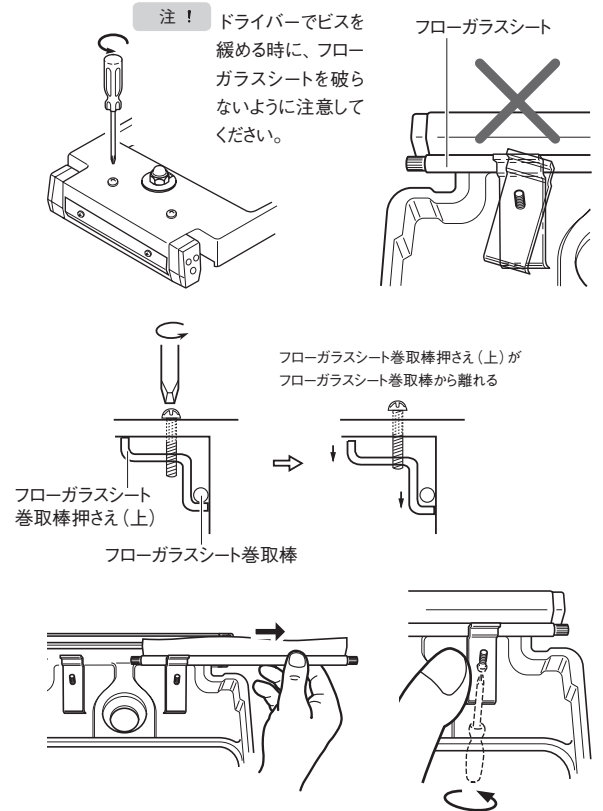
この時、フローガラスシート巻取棒押さえ（上）でフローガラスシートを破らないように注意してください。

1　「9-1 部品交換のための準備」を参照して、圧着レバーを上げてください。

2　圧着レバー上のビスを緩め、フローガラスシート巻取棒押さえ（上）を圧着レバーの裏側から少し離すとフローガラスシート巻取棒がゆるみます。

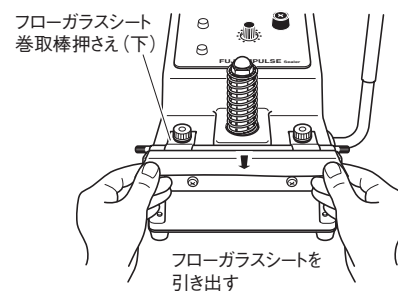
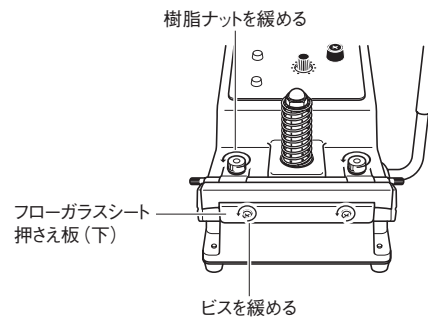
3　フローガラスシート巻取棒を横から抜き取ります。

4　取り付けの時は、まず、フローガラスシート巻取棒を横から差し込みます。

5　フローガラスシート巻取棒押さえ（上）が回転しないように指で押さえながら圧着レバーの上のビスを締めてフローガラスシート巻取棒を固定してください。

9-4　下側フローガラスシートのずらし方

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー
【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた、シールが汚い等

フローガラスシートは予備として巻取棒に 25cm ～ 30cm 巻いてあります。

1　「9-1 部品交換のための準備」を参照して、圧着レバーを上げてください。
2　フローガラスシート押さえ板（下）のビスと、樹脂ナットを緩めます。
3　フローガラスシートの端を引っ張ってヒーターの上にフローガラスシートの新しい面が来るように引き出します。
4　不要部分をハサミで切り取ります。
5　取り付ける時は、まず、フローガラスシート押さえ板（下）とフレーム胴体の間にフローガラスシートの端を挟み込んでフローガラスシート押さえ板（下）のビスを締めて固定します。
6　フローガラスシート巻取棒を回してフローガラスシートのゆるみをとります。
7　樹脂ナットを回してフローガラスシート巻取棒押さえ（下）でしっかりとフローガラスシート巻取棒を固定してください。

9-5　下側フローガラスシートの交換

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた、シールが汚い等

フローガラスシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

フローガラスシートは予備として巻取棒に 25cm ～ 30cm 巻いてあります。

フローガラスシート巻取棒に巻いてあるフローガラスシートが全て無くなりましたら、以下の方法でフローガラスシート巻取棒を外して、新しいフローガラスシートを取り付けてください。

この時、フローガラスシート巻取棒押さえ（上）でフローガラスシートを破らないように注意してください。

1　「9-1 部品交換のための準備」を参照して、圧着レバーを上げてください。

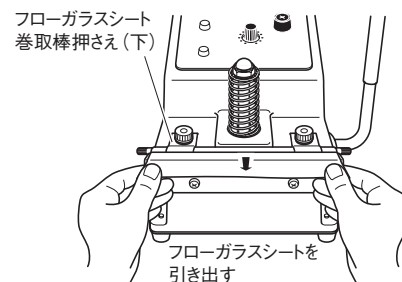
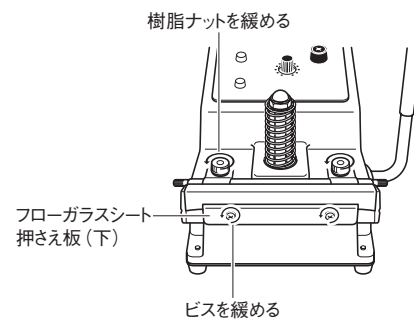
2　フローガラスシート押さえ板（下）のビスを緩めます。

3　フローガラスシート巻取棒押さえ（下）を固定している樹脂ナットを緩め痛んだフローガラスシートを巻取棒とともに取り去ります。

4　取り付ける時はフローガラスシートを巻き付けたフローガラスシート巻取棒の上にフローガラスシート巻取棒押さえ（下）を載せ、フローガラスシートを少し手前に引き出します。

5　フローガラスシート押さえ板（下）とフレーム胴体の間にフローガラスシートの端を挟み込んでフローガラスシート押さえ板（下）のビスを締めて固定します。

6　フローガラスシート巻取棒を回してフローガラスシートのゆるみをとります。

7　樹脂ナットを回してフローガラスシート巻取棒押さえ（下）でしっかりとフローガラスシート巻取棒を固定してください。

9-6　上側ヒーターの交換

組紐ヒーター、リボンヒーター共通

ヒーターを取り付けている電極は右イラストのような部品構成になっています。

電極部の部品構成

⚠ 注意　ヒーター交換の時はガラステープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。
ガラステープ、サーコンシートが傷んでいてヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。

【必　要　物】　プラスドライバー
【交換の目安】　ヒーターが切れた、凸凹が発生した、シールが汚い等

ヒーターは単品販売、補修部品セット販売しています。

⚠ 警告　もし誤って、ビス C を紛失した場合、ビス C（M4×6）より長いビスを代用しないようにしてください。
ビス C より長いビスを使用すると電極台を固定しているビス D と接触して、ショートする危険性があります。

MEMO　ビスや電極カバーを紛失しないように電極カバーを外さないでヒーターを交換できる構造になっています。

1　上側のフローガラスシートを外します。「9-2 上側フローガラスシートのずらし方」を参照してください。
2　左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。電極カバーを外す必要はありません。
3　電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。

⚠ 注意　ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。

4　取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
5　2 で緩めたビス B を確実に締付けヒーターが左右に張られた状態にします。
ビス B の締め付けがゆるいとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります。

9-7　下側ヒーターの交換

組紐ヒーター、リボンヒーター共通

ヒーターを取り付けている電極は右イラストのような部品構成になっています。

電極部の部品構成

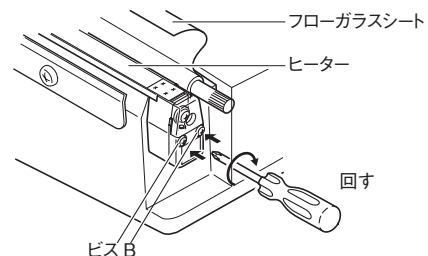
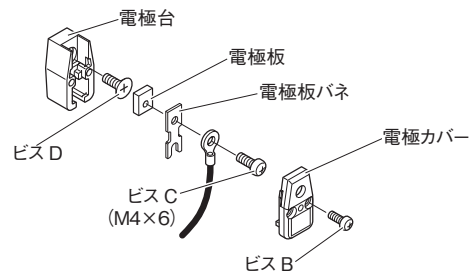
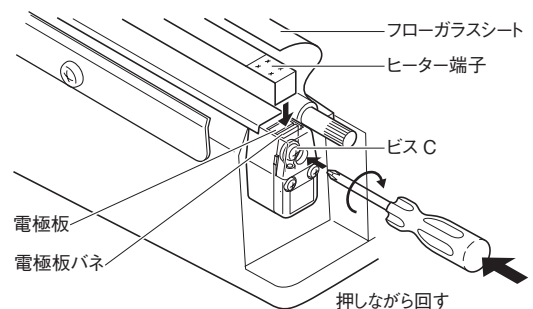
⚠注意　ヒーター交換の時はガラステープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。
ガラステープ、サーコンシートが傷んでいてヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。

【必　要　物】　プラスドライバー
【交換の目安】　ヒーターが切れた、凸凹が発生した、シールが汚い等

ヒーターは単品販売、補修部品セット販売しています。

⚠警告　もし誤って、ビス C を紛失した場合、ビス C（M4×6）より長いビスを代用しないようにしてください。
ビス C より長いビスを使用すると電極台を固定しているビス D と接触して、ショートする危険性があります。

MEMO　ビスや電極カバーを紛失しないように電極カバーを外さないでヒーターを交換できる構造になっています。

1　フローガラスシートを外します。「9-4 下側フローガラスシートのずらし方」を参照してください。
2　左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。電極カバーを外す必要はありません。
3　左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
4　取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
5　2 で緩めたビス B を確実に締付けヒーターが左右に張られた状態にします。
ビス B の締め付けがゆるいとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります。

⚠注意　ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。

9-8　ガラステープ、サーコンシートの交換

【必　要　物】 はさみ、プラスドライバー、アルコール（エタノール）
【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等

ガラステープ、サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

取り外し

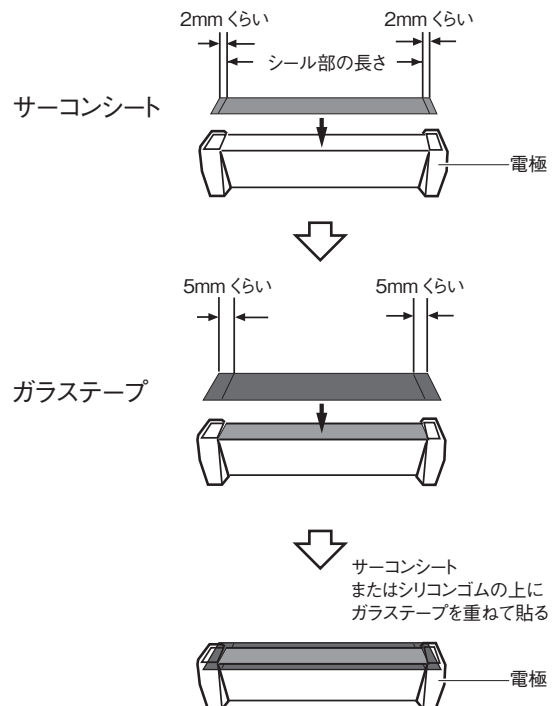
1. 「9-3 上側フローガラスシートの交換」「9-6 上側ヒーターの交換」および「9-5 下側フローガラスシートの交換」「9-7 下側ヒーターの交換」を参照して、フローガラスシート、ヒーターを取り外してください。
2. ヒーター下のガラステープとサーコンシートをきれいにはがしてください。

MEMO　サーコンシートは上ヒーター（圧着レバー）側にだけ取り付けられています。

注！　粘着のりが残っている上にサーコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

取り付け

3. 圧着レバー側のみ、新しいサーコンシートをシール部の長さより左右約 2mm ずつ長めに貼り付けます。（1枚）
4. 圧着レバー側、シールフレーム側双方ともにシール面の長さより左右約 5mm ずつ長めに（電極の上に 5mm かかるように）新しいガラステープを貼り付けてください。（1枚）
   - ■ 圧着レバー側・・・サーコンシートの上に重ねて貼り付けます。
   - ■ フレーム側・・・シリコンゴムの上に重ねて貼り付けます。

注！　ガラステープ交換の際に、サーコンシートの圧着レバーへの貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにサーコンシートも交換してください。

9-9 シリコンゴムの交換

【必　要　物】 アルコール（エタノール）
【交換の目安】 シールが汚い等

シリコンゴムは単品販売、補修部品セット販売しています。

1 「9-5 下側フローガラスシートの交換」「9-7 下側ヒーターの交換」を参照して、下側のフローガラスシート、ヒーターを取り外し、シリコンゴムの上に貼っているガラステープをはがします。
2 シリコンゴムをフレーム胴体より取り外します。

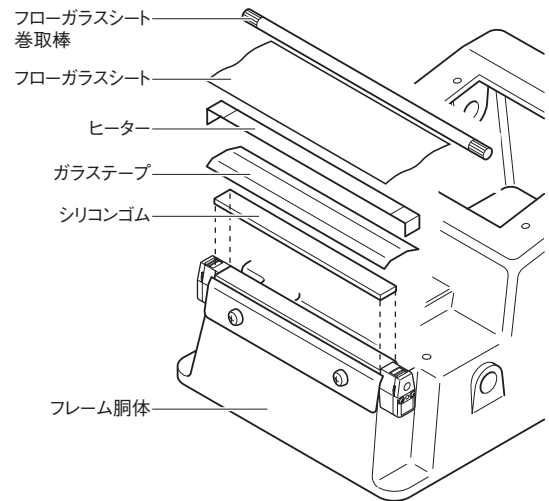
MEMO シリコンゴムは粘着のりで貼り付けています。

3 フレーム胴体のシリコンゴムを取り外した箇所に残った粘着のりをアルコール（エタノール）などを使ってとります。

注！ 粘着のりが残っている上に新しいシリコンゴムを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

4 新しいシリコンゴムを端から順に丁寧に貼ってください。

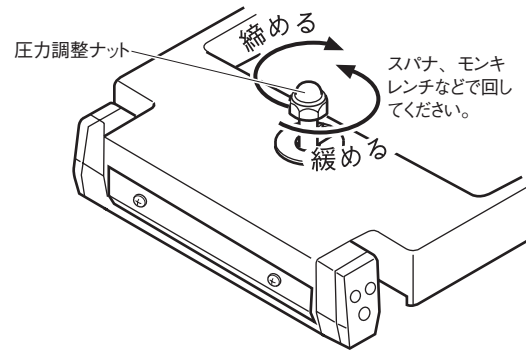
注！ シリコンゴムは貼り直しができませんので丁寧に貼り付けてください。

5 「9-8 ガラステープ、サーコンシートの交換」の手順4を参照して、シリコンゴムの上にガラステープを貼り付けてください。
6 1で外した下側のフローガラスシート、ヒーターを取り付けてください。

10 シール圧力の調整方法

ご使用になる袋の材質や厚み、形状により必要な圧力が異なるため調整が必要となりますので下記の手順を参照して、シール圧力の調整を行ってください。

【必　要　物】 17mm スパナまたはモンキーレンチ

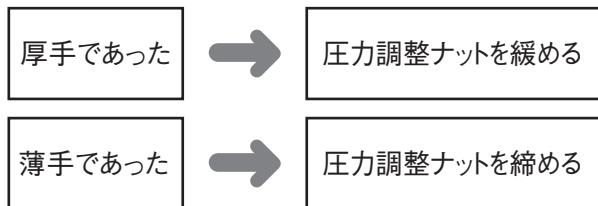
⚠ 注意　圧力調整ナットを必要以上に締めると、圧着レバーに過大な力が加わり機械の損傷が起こる可能性があり、必要以上に緩めると消耗部品を早く消耗させる可能性があります。また、頻繁に圧力調整ナットを締めたり緩めたりすると、廻り止め用の板バネの作用が弱くなり、シール中に自然にナットが緩む場合があります。

⚠ 注意　圧力調整ナットは一度に大きく回さず、少しずつ（45°程度）回して、都度シール圧力を確認しながら調整を行ってください

10-1　包材を変更した場合

下記のフローチャートを参照して、シール圧力の調整を行ってください。

前回使用していた包材は
今回使用する包材より・・・

厚手であった 圧力調整ナットを緩める

薄手であった 圧力調整ナットを締める

10-2　ヒーターの種類を変更した場合

組紐ヒーターとリボンヒーターでは、ヒーターの厚さが異なります。

異種ヒーターへ交換した場合は、（“組紐ヒーターからリボンヒーターへの交換”または“リボンヒーターから組紐ヒーターへの交換”）シール圧力の調整が必要になる場合があります。

シールテスト行っていただき、きれいなシールができない場合は下記を参照して、シール圧力の調整を行ってください。

組紐ヒーター　から
リボンヒーター　へ交換 圧力調整ナット
を締める

リボンヒーター　から
組紐ヒーター　へ交換 圧力調整ナット
を緩める